

## 禁煙支援活動の現状

○北川絵美子（女子医大通り店）、○荒井里実（女子医大通り店）  
麻生恵子（若松町店）、内田あや（若松町店）中村絵美（ミキ調剤）  
城川紀子（ミキ調剤）、西川史子（渋谷店）、村田洋子（渋谷店）  
小峯美奈子（祖師谷店）漆崎斗志子（尾久店）、北野潤（尾久店）  
長久保久仁子（ブロック長）

4月に神奈川県では、公共施設における「受動喫煙防止条例」が施行されました。また、10月にはタバコの値上がりもあり、あらゆるところで「禁煙」が目立っています。

私たちは、①禁煙支援の啓蒙

②処方箋持参者以外の客層の取り込み

③薬剤師の活動の場を増やす

以上を目的とし、禁煙支援活動を2009年2月にスタートしました。若松町店、ミキ調剤、渋谷店、祖師谷店、女子医大通り店で活動を始めてから1年半あまりが経ち、今年の7月からは尾久店も加わり6店舗で行っています。

現在の日本男性の喫煙率は減少していますが、女性の喫煙率はほぼ横ばいです。また、妊娠をきっかけに禁煙するものの、出産を終えると再喫煙してしまうケースが多いというデータがあります。女性にもっと禁煙に興味を持ってもらうために、2年目を迎えて新たな試みとして、禁煙することによって起こるイライラ感、集中力の低下、体重の増加を軽減させるアロマオイル商品「スモークマイナス」を導入しました。6月にミキ調剤でイベントを行い、7月から5店舗で導入しています。

アロマを導入することにより、今まであまり興味を示さなかった女性に多少は関心を持ってもらえるようになりました。アロマ導入前と導入後の支援状況についてご紹介します。日本の現状と支援結果を受けて、男性はもちろん女性や若い世代に関心を持ってもらえるようにアピールをしていく必要があると思いました。

患者さんに「禁煙」を勧めるうえで大切なことは、患者さんと信頼関係を築いていくこと。信頼関係を築くことで、こちらからの声かけに耳を傾けてくれるようになり、禁煙について何回か話をしていくうちに、患者さんの「禁煙しよう」という意欲が湧いてきます。実は「禁煙したい！」と思っている方が多いのです。患者さんは、プラスαの情報と背中を押してくれるのを待っているのではないのでしょうか。禁煙外来の存在を知らない方もまだまだ多いようなので、私たち薬剤師が広めていく必要があると感じています。禁煙だけを勧めるのではなく、一人一人にあった会話をして、禁煙を促していく必要があるでしょう。患者さんの健康をサポートできるように、今後も禁煙支援活動を続けていきたいと思っています。